

平成30年度 新任進路指導主事研修会 講演 感想 (抜粋)

講師 (株) グッドコミュニケーション 代表取締役 中田 康晴 様

30代 男性 (南予)

様々なデータをもとに企業が求める人材、求められている資質について知ることができました。コミュニケーション能力が大切だということを改めて知り、演習も交えて、大事なポイントを学ぶことができました。学んだことを学校現場でも生かしていき、生徒が将来に社会で生きていくことのできる力を育成していきたいと思いました。一分間対話も取り入れていきたいと思います。

50代 女性 (中予)

相手の目を見て話すワークショップが心に残りました。わざと目を見ずに話した時との違いを体験でき、ぜひ中学生にもコミュニケーション能力、傾聴の大切さを教えていきたいと思いました。これからの中学生に身に付けさせておくべきことを、企業側からのお話として具体的に教えていただき勉強になりました。

50代 男性 (東予)

話術のすごさに引き込まれた。表情、言葉のチョイス、声など、人へ伝えられるスキルを全て持っている先生の話に引き込まれた。これからの社会がどういう方向へと進んでいくのか明確に理解できた。自分自身の生活とリンクする話が多く、自分のこととして考えることができた。

40代 女性 (南予)

楽しいペア活動を通して、コミュニケーションの大切さを再認識することができた。生徒とのカウンセリングの機会を多く持ち、生徒の気持ちに寄り添う進路学習になるように努力していきたい。

30代 男性 (中予)

これからの時代を生き抜くためには、AIに負けないスキルを身に付けること。AIの弱点は、読解力である。だからこそ読解力で勝負しないといけないのに、その部分の力が落ちているということは、非常に危険だと感じた。今後、自校でも1分間対話を取り入れ、トレーニングをしていこうと感じた。また、その必要性もしっかりと説明し、理解させていきたいと思う。また、企業は何を求めているのかというのをこれからしっかりと説明し、伝えていきたいと思う。

30代 女性 (東予)

現在ある職業が今後も存在するということではなく、AI時代、人口減少時代、大介護時代が進むことを見越して仕事選びに役立てることも必要だと思った。

進路指導の一環で面接練習も行うが、まずは1分間対話を定期的実践して、話す・聞く習慣付けから行っていきたい。それがコミュニケーション能力の向上に役立ち、仕事にも生かされそうである。